

◎パントール注射液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 パンテノール panthenol 【分類】 パンテノール製剤

【単位】 ◎100mg/A [1mL]

【常用量】 1回 20～1000mg

【用法】 1日 1～2回静注, 筋注, 皮下注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 生体内で酸化されてパントテン酸となり、これが CoA から Acetyl CoA となってオキサロ酢酸のアセチル化やアセチルコリンの生成に関与する。

【主な副作用・毒性】 下痢, 腹痛

【排泄】 尿中に 70% (未変化体), 糞便中に 30%回収 (U)

【蛋白結合率】 68～88% (ラット)

【分布】 パンテノールは主に coenzyme A として組織に分布する。肝・副腎・心臓・腎で高濃度に存在する (U)

【MW】 205.25

【透析性】 データなし (1) 組織移行性が高いと思われるため、透析性は低いと思われる (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない

【備考】 出血時間を延長することがあるので、血友病等出血傾向のある患者には投与しない。副交感神経興奮剤 (ネオスチグミン等) 使用後は 12 時間、サクシニルコリン投与後は 1 時間の間隔を置いて投与することが望ましい (1)

【更新日】 20170415

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。